

令和7年度 ソーダ工業用の塩需給見通し

令和7年3月31日
経済産業省
製造産業局素材産業課

1. 全体の需給について

令和6年度のソーダ工業用塩について、需要量は、内需及び輸出が低調に推移することが見込まれるため、5,859千トン(前年度比101.1%)と前年度とほぼ横ばい。供給量も、5,857千トン(同99.5%)とほぼ横ばいの見込み。

令和7年度のソーダ工業用塩について、需要量は、か性ソーダ等の需要がほぼ横ばいを見込み、6,211千トン(前年度比106.0%)、供給量も6,162千トン(同105.2%)とほぼ横ばいの見通し。

(単位:千トン、括弧内数字は対前年度比)

		令和6年度 (見込み)	令和7年度 (見通し)
需要 見込	ソーダ工業用(注1) 塩需要量	5,859	6,211 (106.0%)
供給 見込	輸入塩	5,857	6,162 (105.2%)

(注1) ソーダ工業：か性ソーダ・ソーダ灰・塩素酸ソーダ

2. 主要用途について

(1)か性ソーダ

令和6年度のか性ソーダの生産量は、内需及び輸出ともに前年度より大きな変化はなく、3,755千トン(前年度比99.6%)となる見込み。

令和7年度のか性ソーダの生産量は、内需及び輸出ともに前年度より大きな変化はなく、4,000千トン(前年度比106.5%)となる見通し。

(単位:千トン、括弧内数字は対前年度比)

	令和6年度 (見込み)	令和7年度 (見通し)
か性ソーダ生産量	3,755	4,000 (106.5%)

(2)ソーダ灰、塩素酸ソーダ

客体数が少なく個社別の情報につながりやすい項目が存在するため、当該集計結果について秘匿とする。